

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【公表番号】特表2013-510927(P2013-510927A)

【公表日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-015

【出願番号】特願2012-538880(P2012-538880)

【国際特許分類】

C 08 F 2/44 (2006.01)

C 08 F 271/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 2/44 C

C 08 F 271/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月5日(2013.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

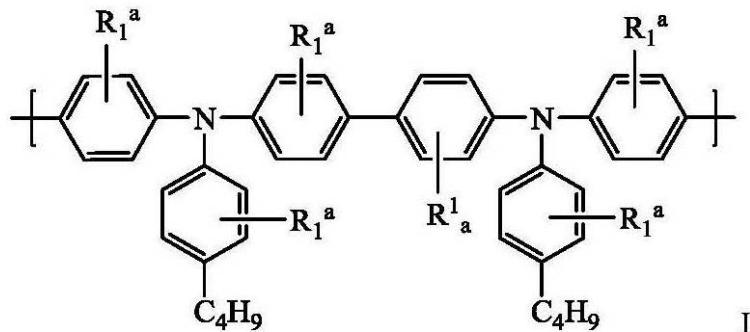
材料の製造方法であって、

ポリトリアリールアミンと化合物との混合物溶液であって、前記化合物がアリールアミン及びアリールホスフィンから選択される1以上の官能基とビニル、アリル、ビニルエーテル、エポキシ及びアクリレートから選択される2以上の官能基とを含んでいける混合物溶液からフィルムを形成する段階と、

熱及び/又は光放射の下でフィルムを処理する段階と

を含んでおり、前記ポリトリアリールアミンが次の式Iの構成単位を含むものである、方法。

【化1】



(式中、R₁は各々独立にC₁～C₂₀脂肪族基、C₃～C₂₀芳香族基又はC₃～C₂₀脂環式基であり、aは各々独立に0～4の範囲内の整数である。)

【請求項2】

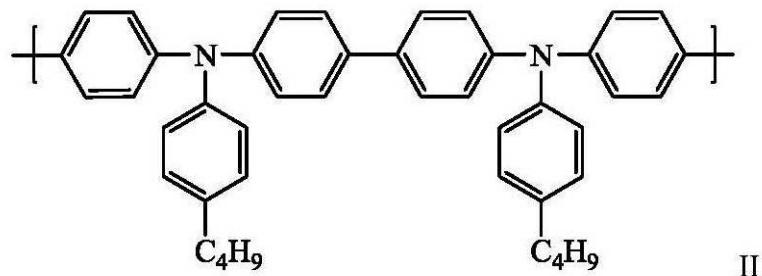
さらに処理されたフィルムを洗浄する段階を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記ポリトリアリールアミンが次の式IIの構成単位を含む、請求項1又は請求項2記

載の方法。

【化2】

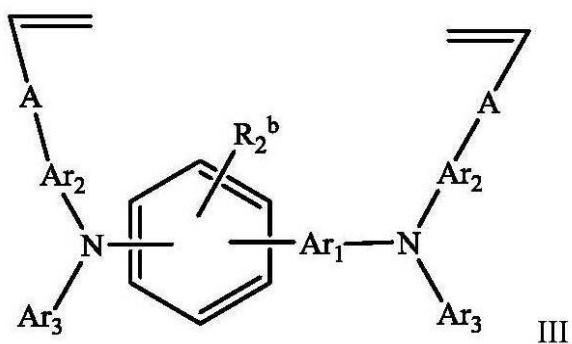


II

【請求項4】

前記化合物が次式のものである、請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の方法。

【化3】



(式中、

Ar_1 は直接結合、アリール又はヘテロアリールであり、

Ar_2 及び Ar_3 は各々独立にアリール又はヘテロアリールであり、

Aは各々独立にO又は直接結合であり、

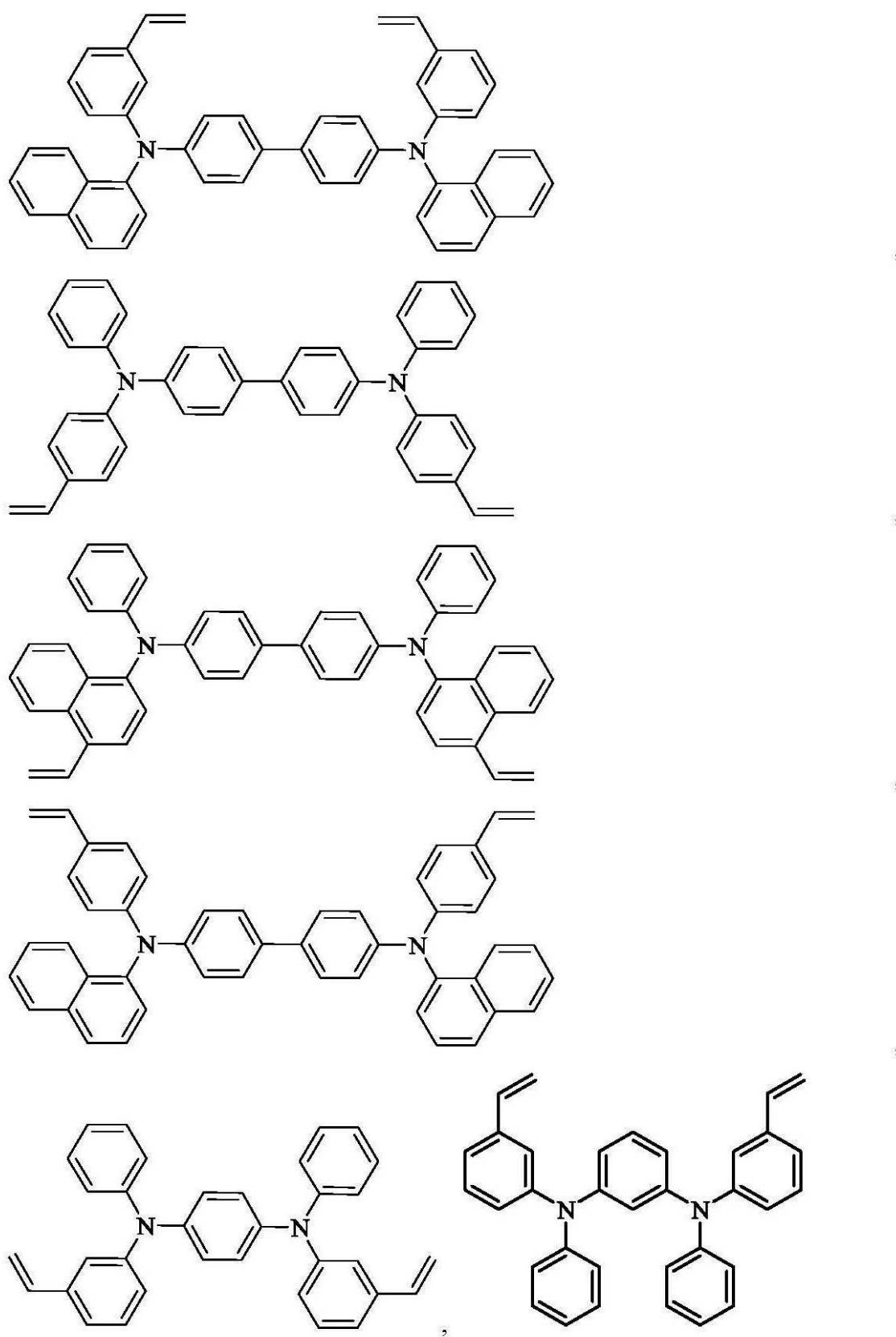
R_2 はC₁～C₂₀脂肪族基、C₃～C₂₀芳香族基又はC₃～C₂₀脂環式基であり、

b は0～4の範囲内の整数である。)

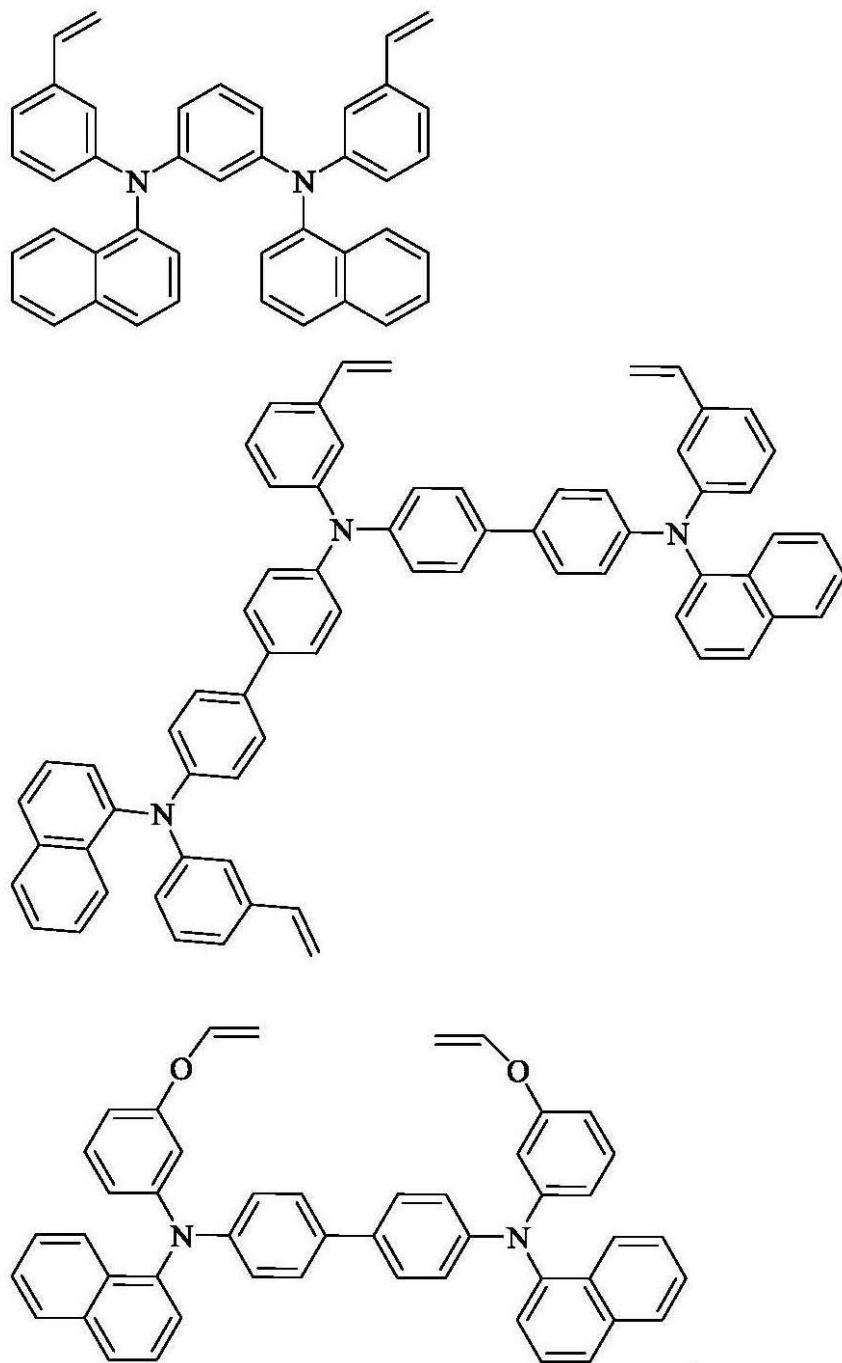
【請求項5】

前記化合物が下記のものから選択される、請求項1乃至請求項4のいずれか1項記載の方法。

【化 4】



【化 5】



【請求項 6】

前記ポリトリアリールアミンと前記化合物とが混合物溶液中で 1 : 1 の重量比を有する、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の方法によって製造される材料。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の方法によって製造される材料を含んでなる光電子デバイス。

【請求項 9】

光電子デバイスの製造方法であって、
電極を設ける段階、
発光層を設ける段階、及び

電極と発光層との間に、請求項1乃至請求項6のいずれか1項記載の方法によって製造される材料を含む正孔輸送層を設ける段階を含んでなる方法。